

第 15 回匝瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議 会議録

開催日時
令和 6 年 1 2 月 1 6 日（月） 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 1 0
開催場所
匝瑳市民ふれあいセンター第 1 会議室
出席者
委員長 鎌田元弘 副委員長 江波戸友美 委員 田邊久利、那智博行、湯浅太郎、椎名勤、大木貞義、加瀬功一 （事務局） 企画課：石橋主査、菱木主査補
欠席者
委員 齋藤正樹、太田雅之、鈴木正雄、澁谷義範、小松達也

※委員については敬称略

会 議 内 容
【次第】 1 開 会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議 事 （1）副委員長の選出について （2）匝瑳市の高校 3 年生に対するアンケート調査結果について （3）匝瑳市人口ビジョン（案）について （4）第 3 次匝瑳市総合戦略（素案）について （5）その他 5 閉 会 【議事内容】 （1）副委員長の選出について 副委員長を江波戸友美氏に決定した。 （2）匝瑳市の高校 3 年生に対するアンケート調査結果について 資料に基づき事務局から説明した。主な質疑・意見は次のとおり。 《委員長》 ご質問、ご意見等あるか。 《委員》

会 議 内 容

今の匝瑳市を表しており、今後どうするかということも出ている、非常に良いアンケートだと思う。

アンケートの結果は絶望と若干の希望を残したものであると思う。3ページの将来希望する職種では、匝瑳市にある企業の大半への就職を希望していないという結果が出ている。深刻なのが、誰も基幹産業である農業への就業を希望していないこと。製造業も1.2%であり、二百何十人いる生徒の中で1人か2人しかいない。保険・金融業といった稼げる職種でも0%。仕事がないわけではないのに、少なくとも今の時点では匝瑳市内の高校の生徒は市内にある仕事を望んでいない。これは非常に深刻なことだ。

ただ、医療・福祉に19.3%というのは希望の一つだと思う。九十九里ホームなど、身近に例があることが非常にキーなるのではないかと思う。希望するのは女子生徒が多いとあったが、家族が娘を手元に置いておきたいという希望があるという話をよく聞く。実際、就職した若い地元の子からも、両親が面倒を見てほしいと言うとの話を聞く。こういったところも女子生徒が残る可能性の高さにつながるのだと思う。

希望する職種について、医療は身近なところにありよく知っているため希望する生徒が多いのだろうと思う。金融は0%ということだが、実際働く場所として何があるか、また、その内容が何か、よく分かっていないおそれが高いと見ている。以前、近隣の高校生と意見交換会を実施したが、2年生くらいだと思ったよりも職種が分かっていないということが多々あった。前回もお話したが、もっと低学年から教育というか理解を深める必要性があるかと思う。

このアンケートで思ったことが、匝瑳市民のお子さんはお祭りを非常に重要なものと捉えているということ。市民祭りの際もたるみこしを担ぐ。子どもの頃から匝瑳市は神輿を担ぐというイメージが非常に強いからこそ、この結果が出るのだと思う。低学年から経験していることは後々意識として残る可能性が高いということだと思う。この部分は希望の一つとして、片方は民間(祇園祭)、片方は公的な祭り(よかっぺ祭り)であるが、観光面と教育面がうまく連動できると良いと思う。工業団地についてのアンケートでも、28社900名もいるのに、企業があること自体2割程度しか知られていなかった。実はお子さんだけでなく、若いご両親も意外に知らないのだなと感じた。そういった点も含め、早くから市民に知っていただくことが非常に大切だと思う。祭りに関連して阿波踊りの例があり、幼稚園の頃から身近に踊りがあり一通り経験してきている。匝瑳市では小学校でたるみこしを経験する。時間はかかると思うが、もう少しブラッシュアップして色々な方達と詰めて実施することで、匝瑳市を知っていただくことができると思う。前回の会議でふれた県民の日の子供向けのイベントも、もう1度実施できるよう千葉県の商工労働部にも掛け合っている最中である。

先ほど委員長からもお話(※冒頭あいさつで茂原高校が地元企業と連携し千葉県コラボ大賞を受賞した話)があったが、茂原もかなり状況が悪い。大手企業の城下町と言われていたが、現在の状況は非常に厳しいということから、高

会 議 内 容

校生を軸にするということは非常にいいことだと思う。また、それをもっと低学年に下ろしていくことが非常に大事かと思う。

交通インフラの充実が必須との結果については、圏央道が2年以内にはできること、連絡道も非常に進んでいること、成田空港にも近いことから、車に対するインフラは良いが、市内のインフラが非常に悪いということを指しているのだと思う。まずタクシーが17時以降にない。どこかに食べに行こう、飲みに行こうと思っても、わざわざ車で行き代行を使わないと帰りの足がない。この点はもっとデマンドタクシーやバスを走らせるなど、まだまだ積極的にやれることがあると思う。年配の方々もスマホをお持ちの方が多くなってきたので、それこそITを活用する場面になるのではないかと思う。高校生からしても、買い物や遊びに行きたくても手段が自転車しかないと思う。これらのことから、市内の交通の便の改善が非常に重要という意見になるのかと思う。

また医療機関の充実が定住にあたって非常に重要である。特に産婦人科の充実度で言えば、市内に全くないわけではないのに出産はわざわざ旭中央病院に行くという方も多い。そうすると市内はお金がかかるため旭に住むという形になってしまう。これは定住、それから特に女性の方にとっては安心して育てる、働くという点に繋がってくる。就業時間などは企業側で多様な働き方ができるように努めているが、やはり女性にとっては出産、当然男性も含めての育児という部分に重点に置かないと定住にはつながらないのかなと思う。

これができる人が定住するようになれば施設も増え、東京に日帰りでも行ける地域でもあることから、例えば7ページにある居住場所の選択に重要視するものはある程度自然と満たされてくると思う。そういった面からすると、非常に期待は持てるかなと思う。

一方、低学年からの教育は、今すぐに始めても結局は10年越しとなるくらい時間がかかる。今ある地域のお祭りなどのリソースを生かすこと、これをもう少し大きくやっていけるかなと思うので、また皆さんからも幅広いご意見を頂戴できればと思う。

《委員》

匝瑳市内に公益社団法人の事務所や本拠、そういったものはあるか。

《事務局》

詳細には存じ上げない。

《委員》

公益社団法人の本拠地や支所があれば、匝瑳市内だけではなく、他の市町村から仕事に来る人もいる。その方々は匝瑳市に居住している人々の感じ方とは異なる、よそから来て匝瑳市に勤める中での感じ方があると思う。社会人であることから、高校生アンケートに対する回答とは違った視点で、匝瑳市に対してこういうのが不足している、こういうものがあった方がいいのではないかという意見を持っていると思うので、聴取できたらプラスになる部分が出てくると思う。

《事務局》

会 議 内 容

参考にさせていただく。

《委員》

農業・林業への就業希望が 0%ということについて、匝瑳高等学校も敬愛大学八日市場高等学校も進学を目指す生徒が多い高校であるので、例えば農家の方であれば市外の農業高校などに通っている方もいると思われる。あくまで市内の高校に在籍する 23.7%の市内在住の生徒のアンケート結果であるため、市内在住の高校生全体で見た場合は、また違う結果になるのではないかと感じる。

お祭りのことも言及があったが、祇園祭は中央地区の市民がメインであり、本人や友達、縁のある人が参加している。しかし、各町内人手不足で、他市から協力を得てぎりぎり開催できている部分がある。お祭りが魅力と 20%近くの生徒が言っているが、実際市内かつ中央地区在住の生徒は 23.7%の中のさらに一部であるため、いくらもないと思われる。

これからはよかっぺ祭りにも重点を置いていく必要があると感じている。子供の頃から地元は何らかの関わりを持つという中で、今度は高校生を巻き込んだお祭りができればと考えている。今よかっぺ祭りは小学校までだが、第 3 回ぐらいまでは中学生も参加していた記憶がある。たるみこしなり、各地区の色々なお祭りなりをうまく利用して、高校生まで交えた市民祭りを作ると、お祭りという点では明るい兆しが見えてくると思う。お祭りでなくとも、大きいイベントなどを作るというのも一つの手かなと、アンケートを見ていて感じた。

《委員長》

大学側から見ると、将来希望する職業の中で分類不能の産業というものが 8.9%ある点が非常に興味深い。

《事務局》

日本標準産業分類に沿って当てはまらないものを分類不能としている。

《委員長》

JAXA や NASA に勤めたいなどの意見があったが、科学技術の観点はあまり意識されていないと感じる。しかし、農業も漁業も製造業も、科学技術なくして成り立たない。情報通信業のように業としては希望するのは 1.6%、建設業も 6%しかないが、大学でいうと AI、あるいは建築の設計やデザインの学部・学科となるが、これらは 50 倍ぐらいの倍率では入れない。高校 3 年生になると進路説明会などもあると思うが、こういった先端技術という観点が加わるとより面白いと思う。

大学生を見ると、コミュニケーション能力というか、コミュニティ作りの能力が非常にナイブである。そういう時に祭りや伝統行事に参加してきた経験が支えになり、外に出た時に戦力になるし自信にもなるかと思う。

アンケートプラスその深掘りで、実際に高校生を集めて、先ほどの科学技術の視点や地域のお祭りの楽しさ等を共有した上でワークショップを行う等すれば、さらに発展形の提案も出てくるのかなと思うので、参考にさせていただく。

会 議 内 容

ればと思う。

（３）匝瑳市人口ビジョン（案）について

資料に基づき事務局から説明した。主な質疑・意見は次のとおり。

《委員長》

基本的には国立社会保障・人口問題研究所の推計、あるいは市の独自推計の方向を示しながら、当市はどういう方向性で、どういう戦略を立てるかということとなる。ご意見ご質問あるか。

《委員》

外国人の転出入の部分だが、数字はどのように把握されているのか。

《事務局》

転入が平成 29 年から 102 人、110 人、172 人、118 人、85 人、196 人、令和 5 年で 435 人。同様に転出が平成 29 年から 52 人、74 人、46 人、49 人、72 人、117 人、令和 5 年で 313 人となっている。令和 5 年に旧野栄地区に技能実習生等の研修施設が開設された影響があるかと思う。転入した方の在留資格等については手持ちの資料では把握していない。

《委員》

短期なのかぐらいは分かると動きが見えてくるかと思う。現在の匝瑳市住民だけでは出生率 2.1 は現実的ではない。日本自体の人口も減っているが、例えばアメリカやカナダ、オーストラリアは日本ほど人口が減る見込みではない。日本も円安があったので、オーストラリアに出稼ぎに行っているという話を身近なところで聞いた。言葉さえ喋れば、同じ仕事をして給料が 2 倍近くであることは事実なので、今後、他の先進国に倣い外国の方の受け入れは当然のことになってくると思う。ただ、国民性的に外国の方の受け入れについてはまだ段階的なところであり、匝瑳市も閉鎖的なところがあると感じる。

銚子市は漁業の町であるため有無を言わず外国の方がいらっしゃる。ただ、その結果、出生率の下落率が高く、深刻な事態となっている。漁業で日本一と言われるほどだが、その主力の仕事がなくなるとことは地元もなくなってしまふ恐れもある。同様に匝瑳市でも主力の農業に従事される外国の方がかなり多いと思うので、やはり戦略に入れていかないわけにはいかないのではないかと思う。

委員長の関わられている自治体での外国の方の取り扱いはどのようなものがあるか。

《委員長》

南房総市などは農業、漁業、相当外国の方の受け入れが進んでいる。手厚く迎え入れて、また送って、教育プロセスを手厚くしていく。海外に戻ってもまたこちらと連絡を取る。そういうシームレスな支援が進みつつある。そうすると良い関係の中で定住される方も出てきたりする。

《委員》

工業団地内の企業でも日本人と結婚された外国の方がおり、外国の方の受け

会 議 内 容

入れは無視できないものであると感じる。

先ほどの高校生アンケートで製造業に来ないとあったが、例えば東総工業であってもみどり平に来るかというとなんと1人か2人。一番大きな問題はやはり賃金レベルが違うこと。都内やより大きな企業と比べ1割から2割近く違うと、就職先として選んでもらうことが難しい。

そういった面はあるが、地の利が良くなっているので、工業団地の空き状況の問い合わせは3ヶ月に1回ぐらい来ている。インターも近く、多古にもインターができれば、相当状況が違ってくる可能性が高い。銚子連絡道も匝瑳市内にもう一つインターができる可能性もある。問い合わせの内容は大体物流の関係なので人口増になるかは定かではないが、悪い感触ではない。ただ、物流関係でも日本人がなかなか集まらないのではないかと思う。

外国の方の話で言うと、意外と匝瑳市が好きだと言っているのを耳にする。SNSなどが好きなので、写真を撮ったり仲間で出かけたり楽しく過ごしている。うちの企業でもできる限り馴染みができるように努めている。

彼らが日本に来る理由はやはり他国と比べて安全であること、これに尽きる。収入で言えば韓国や中国の方が高い。それでも日本が一番いいと複数の国の方が言う。また、日本の文化、アニメもそうだし、神輿は担げるのかとか、地域文芸とか、そういうものが好きな方もいる。外国の方の受け入れについては、何も準備をしないで受け入れるとコミュニティ的に荒れてしまう等があると思うので、時間はかかるかもしれないが計画的に行っていけばうまくいくのではないかと感じる。特に、お互い不信感を持つかどうかは、言葉が通じるかどうかが大事になると思うので、その部分も含めてご検討いただけるとありがたいなと思う。

（４）第３次匝瑳市総合戦略（素案）について

資料に基づき事務局から説明した。主な質疑・意見は次のとおり。

《委員長》

先に伺うが、今後の日程はどのように予定しているか。

《事務局》

来週よりパブリックコメントを実施し、その内容を反映したものを2月中旬を目安で予定している次回市民会議に諮りたいと考えている。

時間の都合上、委員の皆様から今回の会議でご意見をいただけないのであれば、パブリックコメントの意見として提出して頂いても構わないし、方法は問わないのでご意見をいただければ、それも反映した形で次回の市民会議でお諮りできればと考えている。

《委員》

匝瑳市はスタートアップに対して強力に応援し援助します、ということを市内外に強力に発信していただきたい。応援援助の方法等について至急研究していただきたいとお願いする。

《委員》

会 議 内 容

かなり広範囲に渡っているので、まんべんなくやると全部駄目になってしま
うのではないかと思います。こういう戦略なので書かなければならない部分もある
かと思うが、実際には優先順位をつけてやるなどしないと、なかなか実効性が
上がらないのではないかと。

《委員》

高校生アンケートについては本当に貴重なデータだと思う。人を呼び込むの
は難しいと思うが、せっかく匝瑳市で学んだ方をできる限り市内に引き止める
方が比較すると容易かと思うので、まずそちらに力を注いでもらいたい。その
中で、半分ぐらいの生徒がまだ就職先をどうしていいか決めかねている状況で
あるため、皆さんがおっしゃるように、中学生、高校生ぐらいから地元の企業
と連携してワークショップであるとか、そこに就職したいと思われるようなイ
ベントを作っていただくのが、堅実な、実現性の高い施策かと思うので、しっ
かりやっていただければと思う。

《委員》

22 ページに説明があるように、駅前集客イベントなどの実施に力を入れて
おり、他市からマルシェの参加やキッチンカーも多く来ている。

そういう中で昨年からシティプロモーション、ロケ地の誘致に力を入れている。
現在の月曜 9 時のドラマは全 10 話中 3 話が飯高檀林がロケ地となっている。
そのような情報を極力 SNS 等で、匝瑳市にはこういう魅力があるんですよ
ということを発信している。今後とも観光協会として取り組んでいきたいと思
っている。

《委員》

今おっしゃられたように、広報する方法をもっと今風にする必要があると思
う。どれもいいことを書いてあるが、周知されていないというか、一方的に投
げているだけで受け手に届いていない。やはり SNS の活用が必要である。

役所からだけではなく、良し悪しの議論はあるかと思うが、ある程度影響力
がある方、別に有名ユーチューバーを言っているわけではなく、市内のそうい
う方を通じての発信という方法もあるのではないかと。

また、ロケ地の誘致については、ただ良いというだけでは消費までつなが
らないので、ロケ地巡礼まで掘り下げてもらいたい。巡礼という形にすれば、例
えば熱海や沼津などのようなこともできるので、商工会さんなども含めてやら
れるといいかなと思う。プロモーション戦略については SNS 中心に考えられる
とよろしいのかなと思う。

《委員》

先ほども高校生アンケートで、農家への就業希望の高校生が 0% という結果
があった。農業高校などにアンケートを取れば多少は違ってくると思うが、農
家はこのままでは衰退していくと思う。農家がダメになれば、他の方面にも影
響があると思うので、市でも農家関係への支援に力を入れてもらいたいと思
う。

《委員》

会 議 内 容

行政の仕事は 700 から 800 ぐらいあると言われ、今はもっと増えているかもしれない。人員はどんどん減っており、やれることも限られてくると思う。各課で重点政策を掲げてやっていかないと、どれも中途半端になってしまうと危惧する。総合戦略であるから網羅的でなければならないとは思いますが、優先順位をつけてやった方がいいと思う。

特に脱炭素について、何をすればいいのか市民に伝わってこない。各家庭での細かい積み重ねが脱炭素に繋がっていくわけで、市民の教育をしていかないと声かけだけで終わってしまう。それでは非常に残念である。脱炭素の日本一を目指すとか、そういう大風呂敷を広げて自ら退路を断つ、そのような施策を実行しないと、なかなか実現が難しいと思う。

《委員長》

各委員がおっしゃるように、やれることは限られているが、重点政策と基本施策、幹の部分と枝葉の部分がほとんど分かれていない。また、「匝瑳市」を「旭市」に置き換えても成り立ってしまう。なぜそうなるかというと、当事者に意見を聞いていないから。旭市は 18 人の委員中、7 人 8 人が女性で、若い人も、子育て中の人もいる。そのような当事者でないと出てこない生の意見、アイデアがたくさんある。

庁内の各部署の意見が上がってきているのだと思うが、当事者としてこれを解決したい、うちの課がこれをやらないと匝瑳市は 3 年ももたない、そのくらいの危機感を持って意見を出しているように感じられず、全部並列的に感じてしまう。庁内体制、市民に聞く体制ができていないと感じるが、総合戦略の策定がこれらを改善するチャンスでもあると思うので、パブリックコメント後でも構わないので、取り組んでもらえると良いと思う。

せっかくガーデンコミュニティというキーワードがあるので、幹となる中心的、象徴的なプロジェクトをいくつか定めて、そこに枝葉の部分をつけていく。その中で重点の KPI とその従属的な KPI を作っていかないと、市民からは第 2 次戦略と同じに見えてしまい何も意欲がわからない。他市も同じようなことを考えているので、それを上回るには、やはり当事者の意見を入れ込んでいただくのが重要だと思う。

(5) その他

《委員長》

事務局から何かあるか。

《事務局》

本日の会議の議事録については、前回と同様であるが、情報公開の一環として、発言した委員の氏名は伏せた形で市ホームページにて公開することとしたいがよろしいか。

《委員了承》

以 上